

# 競技注意事項

1 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則に従って行う。

## 2 競技者の招集について

- (1) トラック競技の点呼場所は100mスタート地点の後方とする。フィールド競技の点呼場所は、当該競技のピットとする。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてその競技の開始時刻を基準とする。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻	種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	15分前	走高跳・走幅跳・砲丸投 棒高跳	30分前 45分前	15分前 30分前

- (3) 点呼方法  
※トラック競技は、組により点呼時刻が異なるので十分注意すること。  
トラック競技の点呼……競技者係の所に集合し点呼を受ける。  
フィールド競技の点呼……直接現地に集合して点呼を受ける。
- (4) トラック競技の招集方法  
ア. トラック競技に出場する競技者は、出場種目の招集開始時刻がきたら、招集場所にて自分のナンバーカードを競技者係に見せ、チェックを受ける。  
イ. 点呼を終えた後も招集所を離れないこと。移動は競技者係の誘導による。  
ウ. 他競技に出場の競技者については、競技者自身または監督により、その旨を競技者係およびその競技の審判員に申し出て出場を許可してもらう。  
エ. 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権（きけん）したものとみなす。  
オ. 四種競技については、それぞれの種目ごとに点呼を受けること。

## 3 トラック競技について

- (1) 同じ種目でも、組によって招集時刻が異なるので注意する。
- (2) トラック競技の出場者は、各チームで用意した腰ナンバー標識をユニフォームの右腰やや後ろにつける。但し、中長距離種目の9レーン以降の腰ナンバーカードは競技者係より受け取ることができる。
- (3) 事故防止のため、短距離ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。
- (4) リレーのオーダーは、1組目招集完了時刻の60分前までに競技者係に提出するものとする。時間までに提出されない場合は、棄権とみなす。リレーでは、バトンパスが終わったら、自分のレーンのマークをはずすこと。なお、マークは主催者側で準備したものを使用すること。
- (5) トラック競技の準決勝・決勝の走路順は本部抽選とし、記録速報掲示板の番組編成欄に掲示する。結果については、速報掲示板に掲示する。
- (6) トラック競技のプラスアルファが、規定数より多いときは、0.001秒以上の差が認められれば、着差ありとして決定する。この結果、まだ同成績がいる場合には、本部での抽選によって決定する。
- (7) 800m予選は、階段スタートで行う。
- (8) 2・3年男子1500m決勝、女子1500m決勝は16名で行う。  
男女の800m決勝は2組とし、A決勝が予選1着プラスタイム上位者。B決勝が残りのプラス進出者とする。但し、表彰についてはA決勝の順位で決定する。
- (9) 男女学年別100m、男女200m、男子400m、男子110mH、女子100mH決勝は、予選の結果により上位8名によるA決勝と、9番目から16番目によるB決勝で行う。但し、表彰についてはA決勝の順位で決定する。
- (10) 2・3年男子1500mは4'45、1年男子、女子は5'10以内で最後の1周を通過しなければ、競技を中止させることもあり得る。

## 4 フィールド競技について

- (1) 走高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。  
男子（練習1m36）1m41（以後5cm上がり）1m71以後3cm上がりとする。  
女子（練習1m15）1m20（以後5cm上がり）1m45以後3cm上がりとする。  
四種競技 男子（練習1m25）1m30（以後5cm上がり）1m40以後3cm上がりとする。  
女子（練習1m05）1m10（以後5cm上がり）1m20以後3cm上がりとする。
- (2) 棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。  
（練習1m60）1m80以後10cm上げ（出場者の状況、天候などによる変更あり）。
- (3) 走幅跳は予選を行う。予選通過標準記録は下記のとおりとする。  
男子 走幅跳 5m30 女子 走幅跳 4m20  
通過記録を超えた者が12名に満たない場合は、上位から12位及び12番目と同順位の選手を決勝に出場させる。
- (4) 走幅跳の予選および走高跳はA・Bピットを使用する。参加人数によって試技を2回とする場合がある。
- (5) 走幅跳、砲丸投における計測ラインは下記のとおりとする（当日の天候などによる変更あり）。  
男子 走幅跳 4m00 砲丸投 6m00  
女子 走幅跳 3m00 砲丸投 6m00

## 5 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) トラック種目の靴底の厚さは、20mm以内とする。
- (3) フィールド種目の靴底の厚さは、20mm以内とする。

6 公開練習・ウォーミングアップ場所について

- (1) 競技場は2日とも7:00~8:30まで開放する。8:30~9:00は機材準備のために閉鎖する。
- (2) ウォーミングアップは、指定された場所で行い、安全に留意すること。
- (3) 競技開始後(9:00以降)は、進行中の種目に応じ、バックストレート、ホームストレートの一部、フィールド(芝部分)を開放する。
- (4) ウォーミングアップのために開放する場所については放送(アナウンス)にて連絡する。
- (5) フィールド(芝部分)を開放する場合の入退場口はバックストレート中央の1か所(掲揚ポール前)のみとする。接触事故防止のため、その他の場所からの入退場はしないこと。競技進行の妨げにならないように、トラック横断時には細心の注意を払うこと。
- (6) ウォーミングアップのために開放する場所では、それ以外の目的(休憩や待機、応援など)のために留まることを禁止する。
- (7) リレーの練習で使用したマークは、各団体に責任をもって処分する。自分のゴミは持ち帰ること。(ペットボトルや缶も必ず持ち帰ること。ゴミ箱は使用できない。)
- (8) 競技場に練習用の個人器具を持ち込むことは禁止する。(棒高跳のポール、リレーのバトンを除く)
- (9) リレーのバトンについては、バックストレートのみ使用可能とする。なお、朝の公開練習については全ての場所で使用可とする。